



NIPPON BEARING

8月23日付 日本経済新聞広告 『かくれ雑学』詳細 【ハワイのビッグウェーブは Made in Japan】

波の聖地として有名なハワイ・オアフ島《ノースショア》

11 kmにも及ぶ長い海岸には、世界一とも言われるビッグウェーブが出現します。

実はこのビッグウェーブ、誕生に日本が大きく関わっていること、ご存知でしたか？

ノースショアの波は、一年中大きな波ではありません。大きな波が現れるのは、11月～2月。

常夏のハワイに対して、日本は真冬の時期です。

日本の冬は、天気予報でよく耳にする《西高東低の気圧配置》。

この気象こそ、大きな波を作り出す原動力なのです。

冬の日本列島付近では、北西の季節風がシベリアからの寒気を運んできます。

その寒気は日本を覆い、更に太平洋の大海原にまで達します。

そこで、シベリアからの寒気は海上の暖かい空気とぶつかり合い低気圧が発生。日本とハワイのちょうど中間地点で勢力を強めます。

この低気圧こそビッグウェーブの源、アリューシャン低気圧です。

時に台風並みの勢力となった低気圧は、周囲から風を吹き込み、海面を揺らし、うねりを生じさせます。この《うねり》が浜に近づくと、3倍もの高さの波に成長するのです。

これが、ビッグウェーブが誕生する瞬間です。

ハワイのビッグウェーブは、世界中の波乗り達の憧れの存在であり、自然の神秘でもあります。

日本ベアリングの製品開発・生産は、《Made in Japan》の高品質・高信頼をご提供できるよう、一貫して新潟県小千谷市での純国内生産にこだわりを持っております。

日本のものづくりを世界にお届けする。

それはまるで、日本の冬の気象が、6,000 km以上も離れたハワイにビッグウェーブを届けている様を、彷彿とさせますね。

【企画・協力：(株)学研エデュケーショナル】